

基本方針3 大阪府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。

重点目標 3-3	学校のニーズ把握を進め、市町村立図書館と協力しながら、学校支援サービスを推進します。				
評価 (25年度)	△	<p>【評価の理由】</p> <p>府立学校への協力貸出冊数については、目標冊数に向け少しずつ増加している。府立高校対象アンケートの結果から学校のニーズの把握につとめ、目標達成に向け努力したい。</p> <p>学校団体利用数は目標を達成できなかった。提供メニューを再検討し、26年度は目標達成をめざしたい。</p> <p>貸出セットは、セット数の増加や広報に努めた結果、25年度から送料利用者負担となったにもかかわらず、目標を達成することができた。</p>			
重点指標		24年度末 実績	目標	25年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
協力貸出冊数(府立学校)		2,477	最終年度に 3,000	2,546	
学校団体利用数		26	毎年 40	29	
各種図書セットの貸出セット数		52	毎年 55	69	
【アクション・プラン】					
	取組み		達成状況		
平成 25 年度	(1)特別貸出セットの利用方法の実態調査、セット内容の検証 (2)府立学校での図書館活用事例の情報収集 (3)小学校との連携によるモデル事業の検討、ニーズの把握		(1)利用機関を対象に、利用方法アンケートを実施、新規セット追加 (2)府立高校対象のアンケートを実施 (3)小学校の希望テーマに沿った資料選定のアドバイスや、学校に出向いた読み聞かせ等を実施		
平成 26 年度	(1)特別貸出セット利用方法の実態調査、セット内容の検証 (2)府立学校での図書館活用事例を基に、新規モデル事業の検討 (3)小学校との連携によるモデル事業の検討を継続すると共に、具体化をめざす				
平成 27 年度					
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)					
<ul style="list-style-type: none">学校での公共図書館資料の利用の実態について調査、情報を収集することにより、学校図書館支援方法について検証を行い、拡充の方向性を見極める。特別貸出セット内容の充実や貸出方法を見直すことにより、より利用されやすい環境を整えることとする。小学校との連携によるモデル事業を検討する。平成25年度は、学校との調整を行い、実施可能なプログラムから開始。平成26年度以降は、学校カリキュラムに取り込んでもらえるよう働きかけ、調べ学習へと発展させる。また、府域図書館へとモデル事業として情報提供する。					